施行前の事業地区

施行前の事業地区

タイムトリップ

勝田駅東口地区第一種市街地再開発事業（茨城県ひたちなか市）

勝田駅東口地区は茨城県中央部、ひたちなか市の中心市街地に位置し、施行前は駅前広場の慢性的な交通混雑や多くの低層建築物の老朽化などの課題を抱えていました。

市は区域面積約 2.6ha の市街地再開発事業の施行を目指し、平成 6 年 3 月に都市計画決定しましたが、景気低迷などにより事業化を見送りました。

その後、平成 17 年に市からＵＲに事業化支援要請があり、停滞していた再開発事業の区域を縮小するなど身の丈に合った計画へと抜本的に見直しを提案、平成 24 年 6 月に市の玄関口にふさわしい都市空間が完成しました。

所　在　地：	茨城県ひたちなか市勝田中央、元町、大字武田の各一部
施 行 面 積：	約 1.5ha
事 業 期 間：	平成 19 年度～ 24 年度
施 設 建 築 物：	Ⅰ街区（11 Ｆ）住宅・店舗・オフィス・公益施設 Ⅱ街区（6 Ｆ）ホテル・駐輪場
施　行　者：	ひたちなか市（ＵＲ一部受託）

施行後の事業地区

施行後の航空写真

施行後の駅前広場